

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校		
○保護者評価実施期間	2025年10月20日		～ 2025年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 13件
○従業者評価実施期間	2025年10月14日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2025年10月31日		～ 2025年12月29日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	12か所	(回答者数) 11か所
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	実際の学校の現場に入り、一緒に活動できるようにしています。 それにより、助言だけでなく、学校等での児童の様子や関わり方がみれるため、授業も上手く出来るように関わるとしています。	授業へ一緒に参加することにより、児童がそこへ入りやすいようしております。	連携を行いながら、入って欲しい内容などを上手く共有できるようにしていきたいとします。
2	複数体制で訪問させていただくことが多くあります。 それにより、多角的な視点で様子を確認することが出来、さらに人員を割くことが出来ます。	それにより、本来必要な児童だけでなく、その周辺児童への選元も出来、その場が円滑に関われるようになります。	そういったことが出来る人員配置をもう少し検討して対応していけるようにしたいとします。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	最小限人員により、支援を広げることが難しい状態があります。 それにより、新しい受け入れなどが難しくなってきました。	人材確保を行い、より訪問しやすい環境作りを行っていきたくと思います。	採用などを通して、地域に根差した保育所等訪問支援が出来るように、人員を更に増やして対応していく予定です。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 14名 (内1件はきょうだい児)

回収数 13件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	0	0	5		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	0	1	2		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	12	1	0	0		
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	12	0	0	1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	1	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12	0	0	1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11	0	0	2		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	1	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	1		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	1		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	11	0	0	2		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10	0	0	3		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12	1	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	10	2	0	1	内容には満足していますが、日数には満足していません。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 2月 14日

こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

利用児童数 12か所 2025年12月29日 回収数 11件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	4	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	6	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	5	0	該当児童以外の指導についても助言いただき、助かりました。	引き続き訪問させていただき、情報を共有しながら一緒に対応させていただければと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	0	11	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	6	5	0		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>月に1回、様子を見に来てくださり、末通の様子を共有することができたため、多様な視点で立てて考え直すことができています。また、来所「居に来てくださる」と励みになり、その気持ちや態度へのモチベーションにつながっています。いつもありがとうございます。</p> <p>・物にあまり関心がない。</p> <p>・これからもう少し頑張ります。</p> <p>・学校の支援は、他の児童の授業や準備、支援などの兼ね合いがあり、ゆっくり話をしたり、打ち合わせをすることが難しい状況です。お互いに気持ちと様子を見ながら支援をするという形にして、有効的な支援には関わっていないのではないかと感じます。二週間をおこなった部分もありますが、おこなっていたらまだもう少し頑張ります。月に一回では回数が多く感じます。2、3ヶ月に一回くらいではどうでしょうか。</p> <p>・もう少し積極的に保育の中に入っていたら、その中で具体的な支援や励みを感じたいと思います。月に一回では回数が多く感じます。2、3ヶ月に一回くらいではどうでしょうか。</p> <p>・児童に対して適切な支援をしていただけて、ありがとうございます。今後とも、児童への支援を一緒に考えたり、対応していけたらと思います。よろしくお願いします。</p> <p>・訪問支援は外の関係のある児童も含め、全員について支援で対応のしようがないです。</p> <p>・おこなっていたら他の児童さんとの交流時間ももう少し増やせばいいかなと思います。また、理解できなかった学習内容を教員に教えることも対応を知り、取り入れてほしいです。</p> <p>・いつも児童に寄り添ってくださりありがとうございます。</p> <p>・小学校の担任としては、大人を見ながらコミュニケーションを促していかなければならず、その中で前に対する支援との兼ね合いを考えながら児童を教養していくことが、現実的に難しく大変だと感じています。</p> <p>・支援員さんからの意見を聞き入れながら、読み進めています。それが児童の成長につながることを考えています。</p> <p>・訪問して頂くことで、他の児童にも声をかけてもらったり、自分の気持ちを表現する良い機会にはなると感じています。</p> <p>・児童対応のため、給食時間に遅くなるのは難しいです。</p>					<p>・いろいろな視点でお話しさせていただく機会が出来てとてもありがたいです。お時間を作っていただくとこちらも入りやすいので、継続的に関わらせていただければと思います。</p> <p>・状況を見ながら介入させていただいております。是非、入らせていただく中で、ここは言ってもいいよという声がありましたら、かけていただけると入りやすいです。よろしくお願いします。</p> <p>・集団への教育の中での、個への関わりやすさなども分かります。ここどこが出来たのか、どれが難しいのかを一緒に考え伝えることが出来ればうれしいです。</p> <p>・先生の意識が変わったなど、保護者様から声をかけて頂けております。先生の変化が伝わることが、効果になっていると思います。ありがとうございます。</p> <p>・全体的にお忙しい中時間を取っていただき、さらに、ご意見などもいただながら連携をしてくださりありがとうございます。引き続き皆様のご協力よろしくお願いいたします。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校		公表日		2026年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		その児童に合わせて実際に必要そうな道具は 持参するようにしている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		最低の人員は配置している。	ニーズに合わせて調整していく予定ではある が、現在その確認をしている。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		会議で情報を共有し、校内での意見なども 確認して調整しております。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		モニタリングなど定期的に確認してい き、ニーズの確認を行っております。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		会社内での確認を行い、その改善に努めてお ります。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	会社内で地域をまたいで確認をしている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		支援の質の向上を図るための研修は、会社 内、地域、さらに外部でも研修があれば、告 知を行い、受講を促している。	保育所等訪問支援としての研修機会を増やし ていく。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子に関して、フィードバックを する時間を設け、迅速に対応できる環境を整えております。また、定期的に事 業所内でのケース会議を行い、指導員だけでなく、事業所として利用者様の個 別支援計画書を作成しております。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		⑧と同様。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		⑧と同様。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		⑧と同様。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		初回面談時、受付シート等で行っておりま す。また、年1回の振り返りもアセスメント シートを用い行っております。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		⑧と同様。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		職員間で情報共有できる時間を作ってい ます。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		⑮と同様。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		授業の様子を見ながら入るところに声掛け するようにしております。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		株式会社クラ・ゼミとして、内部監査を毎年行 い、セルフチェックをしています。また、月末に 必ずセルフチェックを行っております。			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		㊸と同様。 また担当制を導入し、細かな変化に気が付ける体制を整えております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員が参加しております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		積極的に、学校、関係機関に向き、現場の職員さんと意見交換をしております。また、常に見学可能としており、当事業所での様子が知れるようにしております。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、連携や確認を行っております。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		内外問わず、研修の告知や参加が出来るものはして行っております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		毎回欠かさず出席させていただいております。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		㊸と同様。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方、ご家庭でのあり方などアドバイスさせていただいております。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		初回の契約時に、利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、校舎入り口にいつでも見られるように説明出来るファイルを設置しております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事業開始前に、各学校や保育所への訪問は終了していますが、内容理解までは言っていないかったようです。	上手く伝わっていないこともあったため、各校長先生へ再度挨拶するなど説明を行ってまいりました。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談の時に話を聞いたり、フィードバックの際に最近の様子など確認しながら反映させております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書のサインを頂くときに、読んでいただいてサインをもらうようにしております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援の面談として、必要に応じて行っております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			他に実施しているところへ案内するなどをしています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談申し入れにつきまして、営業時間帯いつでも対応できるようにしております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式ラインサービス・当社ホームページを活用し、事業所イベントの告知を行っております。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きロッカーを必ず使用し、社内研修にて、職員の意識の向上を図っております。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様、保護者様一人ひとりに「寄り添う」スタンスのもと支援をさせていただき、困り感を聞けるよう常に心掛けております。		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		いつでも相談が出来るように声掛けてほしい旨はお伝えしております。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先の時間を確認しながら、フィードバックをお伝えし、次に生かせるようにお話をさせてもらっております。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援終了後は、来校時に話をし、様子などの共有を行っています。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報になる問題は、もっていかないようにし、聞き取りから必要な情報共有を行っています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	状態に合わせながら、必要に応じた回答を行っています。その場で難しい場合は、持ち帰りながら行っています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	毎月、防災訓練を実施しております。また年間でスケジュールを組み、年2回は利用者様と一緒に避難訓練を実施しております。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全確保計画を策定し、訓練を毎月行いながら、必要に応じて改善を行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	兵庫、中国、四国、九州でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	毎年、市主催の研修を初め、社内でも独自の研修、ストレスチェックをしています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	運営規定や身体拘束についても、重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えています。	